

学則変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

香川大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づく 5 名の恒久定員増及び「緊急医師確保対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増を、平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき平成 31 年度までの期限を付した 7 名の臨時定員増を、また、平成 24 年度及び平成 25 年度に「新成長戦略」に基づき平成 31 年度までの期限を付した各 1 名の臨時定員増を実施した。

平成 21 年度に実施した平成 29 年度を期限とする 5 名の入学定員について、平成 30 年度の「新成長戦略」等を踏まえ、地域の医師確保等の観点から、平成 31 年度までの期限を付した 5 名の地域枠として再度の臨時定員増を実施することで、平成 31 年度を期限とする 14 名（「緊急医師確保対策」に基づく 5 名並びに「経済財政改革の基本方針 2009」及び「新成長戦略」に基づく 9 名）の臨時定員増を実施した。

平成 31 年度においては、平成 30 年 6 月 15 日の閣議決定「経済財政運営と改革の基本方針 2018」を踏まえ、地域の医師確保等の観点から、平成 31 年度までに認可を受けた臨時的な定員数から 2 年間を通じて地域枠の学生を確保できていない定員数を減じた数を上限として入学定員増を行い、令和 3 年度を期限とする 14 名の臨時定員増を再度実施した。

令和 4 年度においては、「令和 4 年度の医学部臨時定員増の暫定的な維持について（文部科学省高等教育局長、厚生労働省医政局長 通知）」に基づき、令和 4 年度の医学部定員に関しては、暫定的に令和 2・3 年度と同様の方法で設定することで、14 名の臨時定員増を実施し、令和 4 年度入学定員の臨時定員増を行わなかった場合の 95 名から 109 名に変更する。これに併せて、収容定員についても臨時定員増を行わなかった場合の 595 名から 609 名に変更する。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

医療は国民生活に欠くべからざるものであり、誰もがいずれの地域にあっても必要な医療を受けられ、また地域医療に従事する医療従事者が働きがいを感じる医療の現場を実現していくことが必要である。

香川県においては、へき地医療を担う医師や産婦人科と麻酔科などの医師数が全国平均を下回っており、どこでも、適切な医療を享受できる体制を一層整備する必要がある。

政府の「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について」に基づき「地域の医療が改善されたと実感できる」実効性のある策を講じて地域医療の向上に寄与するため、令和 4 年度における医学部医学科の入学定員を 14 名増加する。同時に、学生を卒業後、地域に定着させるための大学の取組として、地域医療に貢献するマインドを持った医師を養成するための教育プログラムを一層整備する。併せて、卒業生による地域医療への貢献を促進するための取組を実施する。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

【地域医療を担う医師の養成に関する取組の変遷】

- ① 1年次の授業科目「医学概論」において、香川県立中央病院へき地医療支援センター医師による講義「医療と地域社会」を実施している。また、「医療プロフェッショナルリズムの実践」では、山間部医療、在宅医療について、学外の医師から実践的な講義を実施している。平成24年度からは地域の医療機関、老人保健施設、福祉施設等にて見学実習を実施している。
- ② 2年次の授業科目「患者との出会い」（令和3年度より新設）において、外来診療の見学等、低学年より患者と接するための実習を実施している。原則、附属病院での実習を予定しているが、将来的には県内の医療機関での実習も検討している。
- ③ 3年次の授業科目「臨床総論講義」において、坂出市立病院副病院長による講義「地域に根ざした中核病院・優れた医療人をつくる研修病院を目指して」を実施している。
- ④ 4年次の授業科目「衛生学」において、香川県環境保健研究センター等にて地域保健医療の見学実習を実施している。また、「公衆衛生学」において、地域医療に関する講義や行政機関での体験学習や訪問調査等を実施している。
- ⑤ 香川大学医学部附属病院地域医療教育支援センター（平成22年7月設置）により、平成23年度から医学実習Ⅰの中で、地域医療臨床実習を1週間実施している。これは、県内の地域医療の基幹となる医療機関での実習であり、当初6医療機関で開始されたが、現在は12医療機関の協力を得て実施している。また、医学実習Ⅱは、実習期間を平成30年度から12週を27週とし、5・6年次にまたがる必修科目となっており、地域医療等の病院での地域医療臨床実習は、3週間の選択から必修へ変更し、当初3医療機関で開始されたが、現在は16医療機関の協力を得て実施している。これ以外にも、附属病院総合内科をはじめとした臨床系講座が、県内の病院、診療所での実習を実施している。
- ⑥ 香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センター（平成15年4月設置）に専任教員を配置し、研修環境やシステムの充実、研修医のニーズに応じた自由度の高い研修プログラムを提供している。
- ⑦ 香川大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラムでは、2年目に研修医全員が3ヶ月以上最長1年の期間、県内の協力型病院にて研修し、卒後臨床研修を通じて地域医療に貢献している。
- ⑧ 香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センターが中心となり、香川県での地域密着循環型の卒後臨床研修及び専門医研修のシステムに関する説明会を、在学生には低学年から定期的実施している。
- ⑨ 平成24年度に策定された「新地域医療再生計画」に基づき、香川県及び県内の自治体等から「神経難病講座」「地域連携精神医学講座」「地域医療再生医学講座」「自治体病院支援・推進医学講座」「地域医療連携医学講座」「循環器・腎臓疾患地域医療学講座」「肝・胆・膵内科学先端医療学講座」の地域医療に

関連する寄付講座が開設され、より充実した地域医療教育が可能となった。

- ⑩香川県と連携し、在学中の修学生に対し、香川県内の地域医療の現場を地域住民と触れ合いながら学べる機会（地域医療スピリット）及び地域医療教育支援センター教員・県内の地域医療従事者・義務年限中の医師等を講師として、セミナーを各学年1回/年（学年別セミナー）を提供している。

令和4年度入学定員増員計画

大学名	国公立
香川大学	国立

1. 現在(令和3年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
109	5	0	679



(収容定員計算用)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
(ア)入学定員	109	109	109	109	109	109	654
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	114	114	114	114	114	109	679

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和4年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
95	5	0	595



(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	95	95	95	95	95	95	570
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	95	595
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和4年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
109	5	0	609



(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	109	95	95	95	95	95	584
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	114	100	100	100	100	95	609
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 14



(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	14
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	
計	14

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 14

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県 香川県	14
大学所在地以外の都道府県	
計	14

※「大学所在地以外の都道府県」から都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R2地域枠定員 (※1)	R2貸与者数 (※2)	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R2とR3の貸与 者数のうち多い 方の数
香川県	14	14	14	14	14
					0
					0
					0
計	14	14	14	14	14

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6 都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

合計	109	14							
----	-----	----	--	--	--	--	--	--	--

(※1)貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和3年度に実施する地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
地域枠(学校推薦)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(区別型)	30	5	<p>本校長から選出される推薦・推薦書の内容及び本学が採録する小論文・面接の結果を総合的に判断し、次入学共通テストの成績を参考に選抜の枠数を決定します。</p> <p>・次入学共通テストの成績及び公開について、2科目受験している場合は、第1検査科目の成績を用います。</p> <p>・次入学共通テストの「英語」は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、次入学センターからリスニングを免除(金沢校推薦)してアライニングの対応をします。</p> <p>ア) 小論文と面接評価面の総合点で順位を決定します。</p> <p>ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。</p> <p>イ) 本学が指定した次入学共通テストの成績が本学の定員を超える場合は、面接の成績をもとに総合点の増加にかかわらず合格を定めることがあります。</p> <p>ウ) 地域枠(学校推薦)においては、上記に加え香川県による面接の結果を参考として合格を決定します(募集については調整中)。</p> <p>※上記の各学判定基準に関する個別の問い合わせについては、こちらを参照。</p> <p>小論文は、単なる作文力のみならず、学校長から提出される推薦書及び面接の記録内容を推察するとともに、次入学共通テストではみることができない論理的思考力、論理観、社会性等をみるために行います。</p> <p>小論文の主題は、英語による問題(小論文1)と日本語による問題(小論文2)のいずれかから選出されます。なお、小論文2は出題3題の中から選抜して解答します。</p> <p>②面接</p> <p>面接は、医師及び医学研究とみるにせむい適性をみるために行います。なお、高専理直書、推薦書、調査書を面接の重要な資料として用います。地域枠(学校推薦)においては、通常の面接に加え、香川県による面接があります(募集については調整中)。</p>	<p>次の各条の要件すべてに該当する者で、人物が優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者。</p> <p>(1)高等学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月に卒業見込みの者</p> <p>(2)高等学校における学習成績が優秀で、かつ、調査書の学習成績欄がA段階に属する者</p> <p>(3)推薦書において、物理、化学及び生物(推薦制)においては、理数科目、理数科目と理科(生物)の両方からなる目的目録(推薦書)に、物理、化学、生物、英語及び国際教育の分野に関する目的目録(推薦書)を記載し、推薦書にあっては、理数科目1及び理数科目2並びにコミュニケーション英語Ⅱ及び英語表現Ⅱを履修(見込みを含む。)した者</p> <p>英語表現Ⅱを履修の履修等により履修内容が上記科目区分にない場合、また外国の高等学校での取得単位を高等学校の卒業要件としている者については、履修科目について効力前に取り除く余地がありますので、高等学校長を通じて推薦書に記入する場合は、お問い合わせください。所定の期日までに問い合わせの無い場合は、出願を受理しません。</p> <p>(4)合併した場合は、入学を継続できる者</p> <p>【推薦人員】</p> <p>卒業見込者:1校につき8人までとします。</p> <p>既卒者:1校につき1人までとします。ただし、香川県内の高等学校について、本校が推薦する場合は、推薦人数5人以上とします(推薦制)です。</p> <p>人物については予定で取り、変更が効力が得ます。推薦人員が確定次第、本学ホームページ(https://www.kagawa-u.ac.jp/)ですみやかに公表します。</p> <p>詳細は、2022年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項を参照してください。</p> <p>前記、医学部医学科の要件すべてに該当し、かつ、次の条件すべてに該当する者で、人物が優秀で、併せて、香川県内の地域医療に貢献したいという強い意思を併せて記載すること。なお、地域枠(学校推薦)に出願する場合には、通常の推薦書と併せて出願することになります。</p> <p>(1)香川県内の高等学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月に卒業見込みの者</p> <p>(2)香川県立総合高専(香川県内の公立病院等)で一学期間(9年制)を履修した者</p> <p>(3)卒業、履修が完了した香川県立総合高専(香川県内の公立病院等)で一学期間(9年制)を履修した者</p> <p>※「香川県立総合高専(香川県内の公立病院等)で一学期間(9年制)を履修した者」の募集は、香川県ホームページ(https://www.pref.kagawa.jp/)から「香川県立総合高専(香川県内の公立病院等)で一学期間(9年制)を履修した者」の募集ページからご確認ください。</p>	H21以前	令和4年度名称変更

地域枠(一般)					医学部医学科の地域枠(一般)に出席できる者は、上記の出席資格に該当し、かつ、「地域枠(一般)」で出席し合格した場合は、次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります(募集については別冊中)。 なお、地域枠(一般)に出席する者は、一般枠(通常の一般選抜)を併せて出席することができます(募集については別冊中)。 ① 香川県内の高等学校を卒業した者又は2022年3月までに卒業見込みの者 ② 香川県医学生修学資金の賞付を受け、香川県が別途定める医療機関(香川県の公立病院等)で一定期間(9年間)医師の業務に従事する意思のある者 ※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ(https://www.pref.kagawa.jp/)から「香川県医学生修学資金」でご検索してください。	H22	令和4年度 名称変更
(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	79	別枠(区別型)	9	入学者の選抜は、大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査(総合知識検査)の結果を総合して行います。 ・個別学力検査科目は、総合知識検査と同様に、各科目の科目にかかわらず、個別の成績をもつて不合格となる場合があります。これに加え、地域枠(一般)では、香川県による面接の結果を参考として合否を決定します(募集については別冊中)。 ・大学入学共通テスト及び個別学力検査の取扱いについて ・本学が実施している大学入学共通テストの教科科目を本学が指定する科目として、個別学力検査を受験すること ・大学入学共通テストの外国語で英語を選択する受験者は、必ず「リーディング」及びリスニングの両方を受験してください。 両方を受験していない場合は、個別学力検査を受験することができません。 ・本学が実施している大学入学共通テストからリスニングを免除された者は、リーディングのみです。 ・本学が実施している大学入学共通テスト及び個別学力検査の教科科目等全てを受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】[5教科7科目] 国語、数学Ⅰ、数学Ⅱ、物理、化学、生物、地学、歴史、地理、公民、外国語、芸術、体育、家庭科、職業科、特別活動、保健体育、総合的な学習の時間、道徳、特別支援教育 【大学入学共通テストから科目を免除された教科・科目】 数学Ⅱ・数学Ⅲ、物理・化学、情報科から1科目 外国語「英」、「独」、「仏」、「生」から2科目 芸術「音楽」、「美術」、「図画」から1科目 保健体育「保健体育」から1科目 職業科「職業科」から1科目 特別活動「特別活動」から1科目 外国語「英語」必須 道徳「道徳」必須 【地域枠(一般)】の大学入学共通テストの専修科目及び個別学力検査の受験科目・科目等については、一般選抜(前期日程)と同じです。それに加え、香川県による面接があります(募集については別冊中)。			
合計	109		14				

(※1)貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

① 地域枠学生が卒業後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和4年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には、「医学概論」において医療と地域社会の講義や「医療プロフェッショナルリズムの実践」として地域の医療機関・老人保健施設等での臨床実習を実施している。2年次には、令和3年度より「患者との出会い」という科目を新設し、外来診療の見学等、低学年より患者と接する機会を設けている。3年次には、「臨床総論講義」において地域医療機関の先生により地域医療に関する講義を実施している。4年次には、「衛生学」において香川県環境保健研究センター等施設にて地域保健医療の見学実習及び「公衆衛生学」において「地域医療の現状と課題」講義や学外での体験学習や訪問調査等を実施している。4～5年次には、「医学実習Ⅰ」として1週間の地域医療臨床実習を、5～6年次には、「医学実習Ⅱ」として平成30年度から3週間の地域医療臨床実習を実施している。

(参考:記入例)

1～2年次には、「〇〇」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■を新たに開始するなど、～を図ることとしている。

② (過去に地域枠を設定したことがある場合) これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

(参考:記入例)

平成〇年度から地域枠による増員を開始し、□□、■などの取組を行ってきた。令和3年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～として地域医療に貢献している。

③ 上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の 別	単 位 数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年次	医学概論	全員	必修	必修	講義	1	H21以前
1年次	医療プロフェッショナルリズムの裏	全員	必修	必修	実習	2	H24
2年次	患者との出会い	全員	必修	必修	実習	1	R3
3年次	臨床総論講義	全員	必修	必修	講義	2	H21以前
4年次	衛生学	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4年次	公衆衛生学	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4～5年次	医学実習Ⅰ	全員	必修	必修	実習	14	H21以前
5～6年次	医学実習Ⅱ	全員	必修	必修	実習	10	H30

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみ)の場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください。 ※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：○週間)	プログラムの概要(1～2行程度)	開始年度

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和3年度以前から継続する取組を含む)(1～2行程度)

取組の名称	取組の概要(1～2行程度)	開始年度
地域医療スピリット	香川県と連携し、修学生に対して香川県内の地域医療の現場を地域住民と触れ合いながら学べる機会を提供している。	H21以前
学年別ランチョンセミナー	修学生(2～5年次生)を対象に、地域医療教育支援センター教員・県内の地域医療従事者・義務年限中の医師等を講師としてランチョン形式のセミナーを各学年1回/年実施している。	R1

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

2. 都道府県等との連携

① 都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例: 200,000)		返免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	(診療科の限定がある場合)その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無 (※1)			
香川県	14	新入生	120,000	8,640,000	医師の免許取得後直ちに、9年を限度とする義務年限において、県内の基幹型臨床研修病院のプログラムに基づく初期臨床研修を開始し、これを終了した後、引き続き、7年を限度として、知事が貸付者ことに指定する医療機関等において業務に従事したとき。	② 大学における選抜と同時に都道府県において面接等を実施	○	○	専門診療科では、内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医	香川県による面接の結果を参考として、合否を決定する。地域枠(学校推薦)5名 地域枠(一般) 9名

(※1)○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのまま提出ください。

② その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例: 在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	
	開始年度	終了年度
香川県と修学生の意見交換会	修学生(1年次生)を対象に香川県からの制度説明を年1回実施	R1
個別面談	在学中の学生・義務年際中医師に対する香川県と連携した相談・指導のための個別面談を年1回/人※それ以外の相談にも随時対応	R2

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのまま提出ください。

3. その他

1~2に記入した以外の、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)
特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

3医国第33545号
令和3年8月19日

厚生労働省医政局長 様

香川県健康福祉部長 土岐 敦史

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和3年8月16日付け3文科高第501号、医政発0816第9号に基づき、下記のとおり、令和4年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

14名

・香川大学医学部における地域枠：14名

担当 : 香川県医務国保課
医療人材グループ 奥澤、亀田
電話番号：087-832-3321